「自分の目で見て選んで買いたい」ニーズに対応

青空市場

福岡県中間市

生活支援体制整備事業

高齢者　子ども　若者　地域住民
障害者　生活困窮者　認知症の方　その他

基礎情報		
	人口（R7.1月時点）	39,014人
	高齢化率（R7.1月時点）	38.3%
	要介護認定率（R7.1月時点）	23.3%
	取組の予算規模（R5）	80万円

詳細はHPから

https://www.city.nakama.lg.jp/soshiki/17/7356.html

取組概要

- 坂道が多く商店もない地区から挙がった「自分の目で見て選んで買い物をしたい」という地域課題を解決するために、移動販売の事業者と連携して青空市場を開催。
- 月に1度、野菜、魚類、大豆製品、菓子、惣菜等を4事業所が出店し販売している。各地区30分程度の開催。

背景・きっかけ

- 坂道が多く商店もない地域の課題として、「買い物支援」「移動支援」が挙がっており、地域ケア会議の困難事例として「自分の目で見て選んで買い物をしたい。」という思いが可視化されたことから、移動販売青空市場が実施されることとなった。

取組の経緯

- 地域と移動販売業者をつなぐことで、青空市場を開催することとなった。 通谷三区自治会青空市場協議会を実施し、定期的に意見交換を行っている。また、令和３年度から令和５年度は、青空市場協議会買い物弱者対策導入支援事業費補助金を活用し、青空市場に必要な備品等を購入した。
- 令和４年度以降も買い物に困っている地域から声が挙がり、月に１回であった青空市場を月２回（Ａ地区・Ｂ地区）に分けて実施している。



令和7年度青空市場チラシ
(後期A地区)

青空市場
福岡県中間市

取組詳細

- **取組内容**
  - ✓ 坂道が多く商店もない地区から挙がった「自分の目で見て選んで買い物をしたい」という地域課題を解決するために、青空市場を開催している。
- **実施体制**
  - ✓ 実施主体：通谷三区自治会青空市場協議会（役割：事業統括）
  - ✓ 協力団体：老人クラブ、自治会、民生委員（役割：販売業者の決定、住民への周知）
- **経費・財源**
  - ✓ 買い物弱者対策導入支援事業費補助金：R3年～

成果

- 定性面：
  - 元来、買い物支援として開始されたが、月に１度集えるコミュニティの場となり高齢者の見守りや孤立防止につながった。
  - 青空市場は地域の買い物支援や見守りの場となっているが、マンパワーが不足しており、行政職員の手伝いが必須となっているため、地域主体で活動できるような構造にしていく必要がある。

今後の展望

- 今後も現状維持しながら続けていく。

取組のポイント

- **地域ケア会議で地域住民の思いを確認**
  - 「目で見て自分で選んで買い物をしたい」という地域住民の思いを地域ケア会議で確認し、「青空市場」を始めた。
- **PDCAサイクル**
  - 「地域での活動に完成の文字はない」と、反省会を開きながら計画→実行→反省→改善を地域の方々と繰り返しながら支援の輪を広げている。
  - 回数を重ねるうちに見えてきた様々な課題に現在も対応中。



青空市場の様子